

畜大だより

OBIHIRO UNIVERSITY OF AGRICULTURE AND VETERINARY MEDICINE

2017. 4. 1



目次

新入生諸君へ	学	長	奥田	潔	1
課程・別科紹介	共同獣医学課程	教授	石川	透	2
	畜産科学課程	教授	辻	修	3
	別科	教授	岸本	正	4
在来生所感	共同獣医学課程	2年	田村	果蓮	5
	畜産科学課程	2年	木村	海音	5
	畜産科学課程	2年	高田	ひかる	6
	別科	2年	早坂	浩希	6
入試・教務課から 学生支援課から	学位記並びに修了証書授与式が行われる				7
	飲酒について				8
	悪徳商法にご注意!				8
	交通事故防止				9



「人生の歩む道を見つける時間」

学長
奥田 潔

新入生の皆さん、入学おめでとう。これからスタートする大学生活に期待で胸を膨らませて、この「畜大だより」を読んでいることと思います。「高度な知識と技術を身に付ける」という初心を忘れることなく、有意義な学生生活を送っていただきたいと思えます。本学は、日本の食料基地として知られる広大な十勝平野に位置し、日高山脈から大雪山系へと連なる山々の裾野から太平洋へと広がる大地と遮るもののない大空を背景に、四季を通じて美しい自然を満喫することができます。このような恵まれた自然環境は皆さんの多様で個性的な夢と希望を迎え入れ、農学・畜産学・獣医学を修めるのに最適の環境であると思えます。

本学は、「食を支え、暮らしを守る」人材の育成を通じて、地域及び国際社会に貢献する》をミッションとし、実学を基調とした教育・研究を展開しています。農学とは、日本だけでなく世界が安定して持続的な発展を遂げるため、食料の確保だけでなく、「食の安全・安心」を担保し、生命や生活を保障するための多くの課題を見いだし、解決していくための学問です。TPPをはじめ国際的なボーダーレス化が進む中、食料自給率の低下、農業者の高齢化、農地面積の減少、農村の活力低下など、日本の食料生産をめぐる情勢は大きく変化しています。こうした情勢の変化に対応するため、本学は国際レベルの教育・研究を標榜し、日本における大学施設としては初の国際食品安全衛生基準（FSSC22000）や国際安全試験所基準（ISO17025）を取得して、それらを実践しています。卒業生の多くは、本学のミッションに沿うように、獣医・農畜産業社会における職業専門人として、日本ばかりでなく海外でも多彩な活躍をしています。

皆さんは本学に入学した目的や人生の目標は明確ですか？漠然としている人が多いのではないのでしょうか。本学において皆さんが所属する各ユニットには、どのような人材を育成するか理念（ディプロマポリシー）に沿った必修科目や選択科目など、卒業時点までに習得すべき講義・実習科目などを示した「履修の手引き」が用意されています。また、科目ごとに勉学をスムーズに進めるための案内書（学習計画書）として「シラバス」が用意され、そこには学習達成度（成績）を評価する指標も示されています。しかし、大学は人生の道筋（プラン）までは立てられません。まだ具体的な目標の決まっていない人も、いつか自らの人生の進む方向を決断し、それに向かって歩み始めなければなりません。

畜産科学課程の入学生には4年間、共同獣医学課程には6年間、また別科には2年間の時間があるので焦る必要はありません。その間皆さんには、初心を忘れず高い志を持ち続け、講義や実習に積極的に取り組むだけでなく、クラブ活動やボランティア活動など課外活動にも積極的に参加して欲しいと思います。講演会や音楽会など文化的イベントにも積極的に足を運び、多様な人々の考えや文化に触れることも大切です。そうしたプラスアルファの活動こそが、多種多様な人々や文化を受け入れられる幅広い人間性を産むと信じています。

本学は、皆さんが「自らの人生の歩む道」を自ら見いだし、自信を持って歩めるようになるお手伝いをします。勉学はもちろんのこと、多くのことに積極的に取り組み、本学ですごす時間が、皆さんの「人生の歩む道を見つける時間」になることを祈念しています。

課程紹介



教授
石川 透

共同獣医学 課程

帯広畜産大学共同獣医学課程の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。そして、ようこそ帯広畜産大学へ!!これまでの弛まぬ努力が実を結び、難関を突破したみなさんの喜びも一入のことと思います。この喜びとともに、これまで多くの方々に支えられこのスタート地点に立っているということを決して忘れることなく、獣医学を修め且つ獣医師を志す学生として6年間の大学生活を充実したものにしていきたいと思えます。

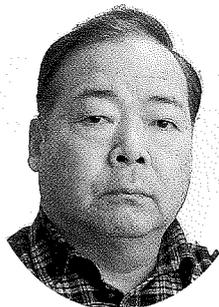
帯広畜産大学と北海道大学による共同獣医学課程は獣医学教育の欧州基準認証の取得をめざし、国際水準の獣医学教育の実践を推進しています。新入生のみなさんは本学の教員からだけでなく、北海道大学の教員からも専門科目の授業を受けることとなります。本学は“日本の食糧供給基地”である北海道十勝という恵まれた自然環境に囲まれていることはもちろんのこと、産業動物臨床施設、食肉検査施設、毒性、微生物および病理検査・診断施設を含む多くの最先端設備を備えていることから、特に産業動物獣医療分野や衛生学分野に関して国内でも特色のある教育を両大学の学生さんに提供しています。一方、北海道大学からは人獣共通感染症や伴侶動物獣医療分野などに関する獣医学教育がみなさんに提供されることとなります。また、専門教育においては教員間の相互乗り入れだけでなく、両大学の学生さんたちが一堂に会して開講される演習や実習もありますので、情報交換や親睦を深める良い機会にしていきたいと思えます。

共同獣医学課程における1年生の授業は教養科目が中心となります。獣医学導入科目では、獣医学を学ぶにあたって必要不可欠な基礎知識や教養だけ

でなく、広い視野で獣医学を学ぶ必要性について学習します。本学の特色ある授業のひとつである農畜産演習では“様々な生き物のいのちをいただきながら私たちは生きている”ことを知る機会を得ることでしょう。本格的な獣医学専門教育は2年生から始まり、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の各分野の講義や実習により体系的に獣医学を学ぶこととなります。また、獣医学に関連する畜産関連分野の授業も開講されます。各分野の専門科目の多さだけでなく、各科目の単位取得において要求される知識量はみなさんの想像を超えるものになるかもしれません。これらの教養科目、獣医学専門科目の取得単位数により進級要件が設定されており（2年生、4年生、5年生進級時）、5年生から始まる参加型臨床実習、いわゆる“ポリクリ”の受講条件として、共用試験に合格する必要があります。さらに、専門科目の総仕上げとして、みなさんは研究室に所属し指導教員とともに特定の課題研究に取り組み、その成果をまとめあげることとなります。これら全てをクリアした学生さんのみが獣医師国家試験の受験資格を得ることとなりますので、十分心して学業にあたっていただきたいと思えます。

共同獣医学課程も今年で6年目を迎えます。この春、新入生の皆さんを迎え、共同獣医学課程6学年全ての学生さん達が揃うこととなります。平成29年度は我々教員にとっても共同獣医学課程を総括する大切な1年となりますし、みなさんが卒業する時に“帯広畜産大学で学生生活を送って本当に良かった”と思っていただけるよう、教員も全力でみなさんをサポートしたいと思っています。一緒にがんばりましょう。

課程紹介



教授
辻



修

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして、これまでその受験生を支えてきたご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。

ここ帯広は、北海道の中でも大陸的な気候区域であり、冬は寒く、夏は暑いところで、その年間気温差は、60℃近くもあります。つまり夏は35℃超、冬は零下25℃以下ということを表しています。また日温度較差も同様に本州に比べ格段に大きいです。しかし、この気温差こそが、作物をおいしく仕上げる魔法の力ともなっています。作物も人間と同様に呼吸をしていますが、人間と異なるところは、呼吸が温度に影響されるということです。つまり、日中の時間帯は、光合成を盛んに行い、夜になると気温の低下とともに呼吸も少なくなり、呼吸に多くのエネルギーを消費することなく作物に蓄積させるのです。これが、十勝のジャガイモやトウキビがおいしい秘密なのです。皆さんは、こんな農業や畜産にかかわるいろいろな秘密を知る入口に立ったところなのです。

大学に入り、その最初が本学独自の、全学農畜産実習です。全学農畜産実習とは、本学のポリシーである「農場から食卓まで」の実践教室です。作物分野では畑の土づくりから始まり、種まき、夏の暑い盛りの草取り、そして収穫までの作業を体験してもらいます。先ほどの秘密のカラクリを直に体験してもらいます。家畜分野では、豚の飼育から始め、その屠殺、その肉を使っのソーセージ作りを行います。酪農分野では搾乳実習から始め、その製品加工として皆さんの大好きなアイスクリームやバター作りにも挑戦します。そして最後は、全学農畜産実習で自らが生産した豚肉やジャガイモ、トウキビ、ソ

ーセージなどを食材として、この帯広畜産大学の青空のもと、一生涯の友となる仲間と指導の先生方と一緒に、バーベキューパーティーを楽しむのです。このような、太陽の下の実習を通して、農業・畜産を実体験できるのが、全学農畜産実習なのです。また、この実習を通して、畜産科学課程の皆さんは、自分の進むユニットや卒業論文のテーマを探してほしいと思います。

1年次には、すべての分野の勉強を行いますが、2年次からは、各々の分野に分かれ専門の勉強が始まります。そのユニットは、家畜生産科学、環境生態学、食品科学、農業経済学、農業環境工学、植物生産科学の6ユニットです。入学したばかりの皆さんは、このユニットの中身が十分把握できないと思います。そこで、畜産科学課程では、各ユニットの先生方による農畜産学概論Ⅰ～Ⅵを1年次に開講し、実習と座学の連携により、皆さんの進むべき道を導きます。皆さんは、すでに「私はこのユニットに進みたい」と思っているかもしれません。しかし、農学は総合科学です。いろいろな分野が相まって皆さんの口に入る命の源を生産しているのです。その基礎となる他分野の講義もよく聞いて、これまで自分が思っていた学問と他分野の学問も比較してもらいたいと思います。その上で、2年次でのユニット所属に臨んでほしいと思います。

最後に、入学した皆さん、大学生活もいろいろな困難が立ちはだかっていますが、何かに躓いた時には、担任の先生や学生相談室に相談してください。そして、常に自分の夢を見失わず、たくさんの仲間を作り、前向きに学生生活を送ることを切に願っています。

別科紹介



教授
岸 本 正



別科の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

別科は農業後継者の養成を目的として1960年に設置され、今年で57年になります。別科の正式名称は「別科（草地畜産専修）」です。その名前のお通り畜産はもとより、農業全般にわたって学ぶことができます。これまでに1,100名を超える修了生を輩出しており、多くの先輩が北海道の農畜産業の分野でリーダーとして活躍しています。

別科の教育の目的は、将来農業に従事し、日本の食料生産を担う農業後継者の教育支援を目的としています。つまり、農畜産業の現場に対応した実学が重視されていることです。そのために、別科専任教員はもとより、畜産学部（共同獣医学課程および畜産科学課程）や畜産フィールド科学センターの教職員も含めて、全学をあげて支援する体制が整備されています。つまり高い専門性を有し、さらに実学重視の教育が展開されているのです。

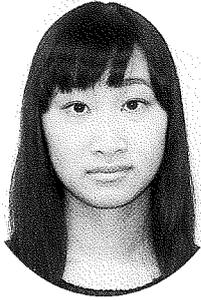
具体的な教育内容としては、学問の基礎として自然科学、人文・社会科学、体育、外国語として英語、さらに専門として畜産学、草地学、土壌作物栄養学、作物学、農業機械学、農業経営学の分野に関して学ぶとともに、それらに関する実習を行います。また、所定の科目を履修し単位を修得すると「家畜人工授精師（牛）」の受験資格、「認定牛削蹄師」の資格が取得できます。

これらの科目に加えて別科で開講されている特色ある科目があります。まず、1年生での「夏季農家実習」です。この科目の内容は、実際に農家に泊まり込み3週間滞在して農作業を体験するというもの

です。次は、2年生での「特別実習Ⅱ」です。これは夏季の3泊4日の日程での研修旅行で、北海道内の特徴ある農家、農業試験場あるいは農業関連施設を見学し、農畜産業についての知見を広めるためのものです。さらに、2年生では「特別研究」があります。各分野の教員の指導の下、学生同士でグループを作り自分たちで研究テーマを選定し、研究計画の立案、データの収集と解析、論文としてのとりまとめを行います。そして、その成果を「別科特別研究発表会」で口頭発表し、さらに「草地畜産専修報告」に掲載します。この特別研究を完成するのにほぼ1年をかけますが、この間に学生同士の交流や相互理解を深め、さらに課題のとりまとめ方法や人に理解してもらうための手法を学び、社会人として生きていくために必要な素養を身につけます。

このように、別科教育の内容は農畜産全体にわたって充実しており、本学の各分野の教員から指導を受けられることが特徴です。しかし、別科で学べる期間は2年間しかありません。この2年間は長いようですが、実際に勉強を始めるとあっという間に過ぎてしまいます。この短い期間が有意義になるように多くのことを学んでください。

これからの日本の農畜産業を背負っていくのは、皆さんのような力がみなぎる若者です。農畜産業の新たな展開を打ちだせるような若者を目指してください。別科での2年間は、自分で学びそして自分の力を発揮できるように訓練する重要な時期にあたります。皆さんも、多くの先輩と同じように、農畜産業の分野で指導的な立場になれるよう、充実した学生生活を送られるよう心から祈念しています。



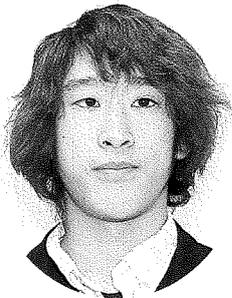
共同獣医学課程 2年
田村 果蓮

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。大学生活に向けて、期待や不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。1年前の私はそうでした。一人で生活できるか、友達ができるかととても心配でした。しかし、今では大学にも慣れ、友達もできて充実した生活を送っています。初めは皆同じように緊張しているはずなので、思い切って周りの人に話しかけてみてください。

大学に入って、今までの生活と変わる部分も多くあります。多くの方は実家を離れて一人暮らしを始めるのではないのでしょうか。家のことも全て自分でやるのは大変ですが、慣れてしまえば自由で楽しい

です。慣れるまでは無理せずゆっくり始めるのが良いと思います。授業も高校のものとは違い、どの授業を受けるかはある程度自分で決められます。その分、今までより自由な時間が増えるので自分のやりたいことにも挑戦できます。ただ、課題とテスト勉強はしっかりやりましょう。早めに手をつけた方が楽です。勉強だけではなく、時には遊ぶことも大切です。学年が上がると忙しくなるそうなので、ぜひ今しかできないことを楽しんでください。

また、部活やサークルにも参加することをおすすめします。学科が違う人とも仲良くなれるだけでなく、先輩とのつながりもできます。分からないことも先輩に聞くと教えてくれます。私は、部活に入って素敵な人たちに出会い、たくさんの思い出ができて良かったと感じています。他にも、好きなことや興味を持ったことがあれば何でも積極的に関わってみてください。様々な経験をすることで、大学生活をより充実したものにできます。では、みなさんがこれからの生活を楽しめることを心から願っています。



畜産科学課程 2年
木村 海音

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。獣医、農畜産専門の国立大学という、国内でも珍しいこの大学に入学を決めるにあたって、皆さんそれぞれに様々な思いがあったことと思います。皆さんはこれから数年間この北の大地で本当にたくさんのことを学ぶことと思います。

僕は酪農家になりたいという夢から畜大にきましたが、皆さんはどうでしょうか。僕の友人には土壌の研究がしたい人や実家の酪農を継ぐという人、牛の病気について知りたい人もいれば、やりたいことなんてまだ決まっておらずなんとなく畜大に来たと

いう人まで、様々です。畜大はかなり専門的で个性的な大学ですが、その中にもいろいろな考えや方向性のある人がいて、それだけにたくさんの刺激や影響を受けることができます。

さて、夢にまで見た華の大学生活が始まる訳ですが、皆さんはどんな生活を想像しているのでしょうか。あなたはもう大学生です。勉強や研究はもちろんレポートに追われる日々やサークル・部活での活動、バイトや恋や旅など、大学生“らしい”ことはもちろん経験できます。しかし、畜大生は他大学の大学生とは一線を画しており、農畜産系単科大学ならではの乗馬実習や作物の栽培、屠畜実習や食品製造実習、搾乳やじゃがいもの収穫をはじめとした農家バイトなるものも経験できます。

これらの自由は責任を伴うというのは言うまでもありませんが、責任を持ってこそその大学生、ひいては大人です。頑張ってお大人の階段を上りましょう。皆さんがこれから充実した畜大生活を歩むことを祈っております。



畜産科学課程 2年
高田ひかる

皆さん、ご入学おめでとうございます。つらい受験を終えて晴れて畜大生ですね！今は期待の中に不安もあると思います。でもまずは、これからの1年を悔いのない楽しく充実したものにしていきたいと思います。畜大には楽しいことがたくさんまっていますよ！

今年の今頃の私は皆さんと同じで期待と不安でいっぱいでした。最初のうちは一人で抱え込むことが多くてストレスがたまり体調不良になることもありましたが、学務課のみなさんや新歓で出会った先輩、新しく出会った友達に相談し、支えあうことでその不安は自然となくなっていきました。特に先輩の意見はとても参考になるので新歓ではいろいろな部活

を見に行くと同時に、たくさん質問しましょう。そして自分の大学生活をより豊かにしてくれると思った部活動に加入することをおすすめします！

部活動に加入すると在学生だけでなく卒業生との交流もあるので人間関係を広げることができます。また、私の所属するバドミントン部では大会に出場するためにみんなで北海道の色々なところへ行きます。旅行のようでとっても楽しいです！こういうところも大学の部活ならではのことで、大学生活をより豊かにしてくれること間違いなしです。

畜大に入学し、私は全学農畜産実習を通して様々なことを初めて体験しました。北海道出身の私でしたが家畜は見たことはあっても触れることは初めてで、牛の乳搾りや羊の毛刈り、豚の飼育など少し怖かったけど貴重な経験をすることができました。皆さんも実習では積極的に行動して、これから学んでいくうえで重要な経験を積んでいきましょう。

畜大生活を思いっきり楽しんでください！



別科 2年
早坂 浩希

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。人それぞれ様々な理由がありこの帯広畜産大学に入学されたと思います。たった一度の畜大生活です。勉学に励み、アルバイトや恋愛を思いっきり楽しんでもらいたいと私は、思います。

私にとって1年間はあっという間のものでした。

私は道内の出身者ですが、高校から親元を離れ大学でも寮生活をしています。初めは、不安や楽しさなど色々な思いを抱え生活し、あわただしい毎を送っていました。ですが、日数が経つにつれ落ち着きを取り戻し日々の生活に少しずつ慣れていきまし

た。自分自身で家事や自炊を行う事により日頃の親への感謝の気持ちやまだまだ未熟な所があると痛感することとなりました。

学業面において、私たち別科の生徒は畜産科学課程や共同獣医課程に比べ、とても短期間で学修です。人数も他と比べ少なく講義時に質問などがしやすく先生との関係性が密接となりより高いレベルでの勉学が可能になると思います。また人数が少ないため、クラスメイトと仲良くなれ、困った時などに助けてくれます。

また広大な北海道でスポーツなどたくさんおこなって体を動かして清々しい汗を流してほしいと思います。そこで私は、北海道の象徴であるウィンタースポーツが魅力だと思います。

私も趣味で休日にスノーボードをしています。新入生の皆さんも是非行ってみてください。

最後になりますが多くの人にとって大学生活が学生生活の最後になると思います。後悔だけは、残さないように精一杯頑張りたいと思います。

学位記並びに 修了証書授与式が行われる



去る3月17日（金）午前10時から本学講堂において平成28年度学位記並びに修了証書授与式が行われました。

式典に先立ち恒例であるマンドリンサークルによる演奏が行われ、多数の家族および教職員が見守る中、奥田 潔学長から獣医学課程、畜産科学課程、別科、専攻の代表に学位記並びに修了証書が授与されました。引き続き学長の告辞の後、来賓の砂川敏文 同窓会会長から祝辞があり、帯広畜産大学逍遥歌が流れる中、式が終了しました。

式が終了すると、少し緊張気味だった卒業・修了者達は、早速会場を後にしました。

外では、先輩の晴れ姿を祝おうと、花束を渡し大学生活の思い出話やサークル活動の苦勞話に華を咲かせていました。

本年度は、学科・課程合わせて246名、別科（草地畜産専修）15名、大学院各専攻合わせて53名の合計314名が、畜大での思い出を胸に社会へ巣立っていきました。



☆ 飲酒について ☆

本学では未成年者の飲酒は、いかなる場合であっても禁止しています。また、未成年者への酒類の提供、飲酒の強要も禁止しています。

コンパ等で飲酒を強要された時は、未成年であることを伝え、はっきり断ってください。拒否したにもかかわらず飲まされた。断れず仕方なく飲んでしまった。等の事実があった場合は、学生支援課又は学生相談室で対応しますので連絡してください。

成人に達してアルコールを口にする場合も、下記のことに留意し、楽しく飲むよう心がけてください。

- 自分の適量を守る
- 周りに煽られても一気飲みをしない
- 飲酒後は車の運転をしない



☆ 悪徳商法にご注意! ☆

(大学生は狙われています)

大学生は、社会との関連も深まり、経済活動範囲も広がりますが、社会的経験が乏しいことから様々なトラブルに巻き込まれる可能性が大きい年代です。親元から離れて自立した生活になり、学生本人があらゆる面で契約する機会が多くなります。

物品の購入、アパートの入居等、他人と契約する時は、事前に十分検討し、保護者等に相談したうえで行ってください。

万一、被害に遭った(と思われる)場合は学生支援課に連絡してください。相談できる機関等を紹介します。

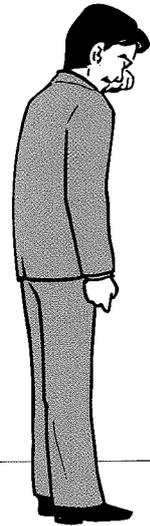
特に若者が被害に遭いやすい悪徳商法の一例は下記のとおりです。

- ワンクリック請求 (パソコンや携帯電話のアダルトサイトで高額な料金を請求する)
- 無料商法 (無料であることを強調して勧誘し、商品等を契約させる)
- サクラサイト商法 (サイト業者に雇われた“サクラ”が芸能人社長などのキャラクターになりすまし、メールの有料サービスを利用させ、その度に料金を請求する)
- デート商法 (間違い電話、メール等で販売目的を隠して近づき、巧みな話術で好意を抱かせ、それに付け込んで商品等の契約を行わせ、その後行方をくらます)
- マルチ商法 (加盟者が新規加盟者を誘い、その加盟者が別の加入者を誘うという連鎖により組織を拡大し、新規加入者や配下の加盟者の支払う加盟料、商売上により自分の利益が増える仕組み。加盟者を勧誘できず、商品は売れず、損することが多い)
- キャッチセールス (繁華街等でアンケート調査と称して声を掛け、事務所等に連れて行き、不安を煽るなどして商品やサービスを契約させる)
- アポイントメントセールス (抽選に当たった、モニターに選ばれた、などと販売目的を明らかにしないで、事務所等へ呼びだし、契約しないと帰れない状況にして商品等の契約を迫る)

交通事故防止

加害者

1. 精神的苦痛
2. 刑事処分 例（懲役・禁固の実刑，罰金）
3. 行政処分 例（免許取消，免許停止）
4. 損害賠償 例（将来の生活を左右することも）
5. 大学の懲戒処分 例（退学，無期停学，停学）
6. 卒業の延期 例（国家試験の免許が得られないこともある）
7. 被害者の後遺症等に対する経済的補償



被害者

1. 精神的苦痛
2. 働き手を失い，経済的破綻等による将来の不安
3. 家庭が暗くなる
4. 家族がノイローゼ
5. 故人が，毎日夢に出てくる
6. 怒り



大学構内の交通規制等について

通学での自動車及びバイクの利用については，交通事故防止と教育・研究並びに環境の保全を目的として，一定の条件をもとに許可をしています。皆さんの通学には，徒歩，自転車，或いは公的交通機関を利用することをおすすめしています。

構内道路では，学生と思われる無断駐車が多数見受けられ，歩行者の通行を阻害する等，荷物の搬入，緊急車両の通行に支障が出ています。（駐車場の利用を希望する者は本学が開催する「交通安全セミナ

一」を受講のうえ「駐車場使用許可申請書」を提出し「駐車場許可証」の交付を受けてください）

また，マフラーの改造等による騒音で授業が一時中断される等教育・研究環境が損なわれつつあります。学外においても，本学学生による不法駐車に対する苦情が多くなっています。（特に隣接する民家等への無断駐車並びに路上への違法駐車は警察に通報が行われます）帯広畜産大学の学生として，良識ある行動を取るよう，切望します。